

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	各種助成事業対応事務事業			事業コード	0042
担当課等	所属名	市長公室 企画調整課	担当係名		
	課長名	市長公室 企画調整課	担当者名	藤澤 正和	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード	2
	基本事業	計画行政の推進	コード	1	関連予算費目名	一般会計 2款 1項 6目 企画調整事務(001-01)		
	特記事項							
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成9年度～)							
事務事業の概要	岩手県補助金(市町村総合補助金・合併市町村自立支援交付金)及び宝くじ収益金を活用した助成金等(助成団体例:財団法人自治総合センター)について各課に事業実施要望の有無を照会し、要望があった場合はその申請内容を審査調整した上で県や助成団体へ申請を行う。また、申請して採択を受けた事業が完了した際には、完了報告書等の内容を審査した上で県や助成団体に対して報告を行う。							
根拠法令等	岩手県補助金交付規則(昭和32年岩手県規則第71号)、盛岡市財務規則(昭和46年盛岡市規則第33号)							
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)								
◇市町村総合補助金:平成12年度開始。市町村の創意工夫をいかした事業の積極的な推進を図り、地域の一層の振興に寄与することを目的とする制度が発足し、庁内の取りまとめが必要となったため。 ◇合併市町村自立支援交付金(交付期間:H18～H22):平成18年度開始。合併市町村が自立した自治体として新たな行政課題等に先導的に対応していくため必要な取り組みに対する支援を目的とした制度で、庁内の取りまとめが必要となったため。 ◇宝くじ収益金を活用した助成金:平成9年度開始。助成制度の内容が多岐にわたることから、庁内の取りまとめが必要となったため。								
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか								
宝くじ収益金を活用した助成金に関する事業は、自治会等といった地域コミュニティ組織も利用できるものがあるため、市民等から申請の可能性について問い合わせがある。								
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか								
◇市町村総合補助金:平成19年度から開始した現制度での補助対象期間が、平成22年度をもって終了した。平成23年度以降の制度が決定していないことから、県の動向に注視していく必要がある。 ◇合併市町村自立支援交付金:市町村合併から5年経過し、平成22年度をもって交付期間が終了した。 ◇宝くじ収益金を活用した助成金:地域コミュニティが利用できる助成制度が増えていることから、市民の問い合わせや申請書作成におけるサポート等が新たに発生することによる事務量の増加が予想される。								

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	各種助成金・補助金対象事業	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 各課から助成金・補助金要望があった事業数(翌年度事業分も含む。)	単位	事業
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 各課に各種助成金・補助金の事業申請要望があるか照会を行った。要望があった事業については、申請内容を審査調整した上で申請に係る関係書類の提出を行った。申請して採択を受けた事業が完了した際には、内容を審査した上で完了報告書等の提出を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年度同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 助成金・補助金申請等を行った事業数(翌年度事業分も含む。)	単位	事業
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	助成金・補助金の交付を受け、適正に実施する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 当該年度事業として採択を受けた事業数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	事業
				B. 当該年度に交付を受けた助成金・補助金額 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	千円
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	計画的に行政事務を進める	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	総合計画実施計画の達成率(事業費ベース)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	各課から助成金・補助金要望があった事業数(翌年度事業分も含む。)	事業	42	46	45	47	17	17	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	助成金・補助金申請等を行った事業数(翌年度事業分も含む。)	事業	37	38	40	46	15	15	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	当該年度事業として採択を受けた事業数	事業	32	36	35	39	15	15	年度
成果 指標B	当該年度に交付を受けた助成金・補助金額	千円	119,856	127,282	130,000	139,178	40,000	40,000	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0				*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	0	0				*****
	延べ業務時間数	時間	148	152	160	160	150	150	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	592	608	640	640	600	600	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	592	608	640	640	600	600	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 各種補助金・助成金の申請段階で総合計画の施策の実現に貢献することを検証するとともに、一般財源の一部に補助金や各種助成金を充てることから、財政の安定化にも寄与し、計画的な行政の推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 助成金の制度に基づいて実施している事務事業であるため、拡大または絞ることはできない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 当課が所管する各種補助金・助成金制度の内容について、庁内に広く理解してもらうことで、事業要望件数を増やすことにより、採択事業件数及び交付申請額を増やすことができる。それにより、より多くの事業を少ない財政負担で推進することができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市や各種団体の財政事業が厳しい現状において、各種補助金・助成金は、事業の推進に大きな役割を果たしている。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 各種の国庫・県補助金等対応事務 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 補助金交付申請先が異なるため、統合して事務事業を実施するメリットはない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 本事業に係る経費は人件費のみであるため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 事業要望に際して各課から提出される申請書類に不備が散見されることから、制度の内容を理解してもらうとともに、各課での企画立案力を高めてもらうことで各課から提出される書類の完成度が向上し、当課による調整事務が軽減できれば、人件費の削減につながるため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 宝くじ収益金等を活用した助成金については、具体的な採択事例を紹介するなどして、より多くの活用の促進を図るための制度の分かりやすい周知に努める。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 助成制度の活用について、全庁掲示板(公用)に掲載するとともに過去の申請実績等を踏まえて該当しそうな事業担当課へ申請を促す。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり : ② 有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり : ③ 効率性 <input type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり : ④ 公平性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>各課に各種助成金・補助金の事業申請要望があるか照会を行い、要望があった事業については、申請内容を審査調整した上で申請に係る関係書類の提出を行った。申請して採択を受けた事業が完了した際には、内容を審査した上で完了報告書等の提出を行った。</p>
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</p>	
		
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>各種助成制度について、よくある質問と答え(FAQ)のような形で採択事例や申請書の記載方法等を具体的に関係各課に示すなど広く理解してもらうことで、事業要望件数を増やすことにより成果指標の向上や申請書の処理時間の短縮を図る。</p>	